



螺鈿樓閣人物文箱(部分) 中国・元時代 根津美術館

特別展

美しさに宿る
神と酒と人の
つながり。



重要美術品 戈印
中国・商時代 泉屋博古館

てん の び ろく 天之美禄 酒の美術



重要文化財 能面 猩々
日本・桃山時代 天河大辨財天柱

2021年

10月9日(土)

11月14日(日)

※展示替えがあります。

【前期】10月9日(土)～10月27日(水)
【後期】10月28日(木)～11月14日(日)

重要文化財 光明真言功德絵詞(部分) 日本・室町時代 比叡山 葛川明王院



- 休館日：毎週月曜日
- 開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
- 入館料：一般 950円 高校・大学生 730円 小学・中学生 無料
- ※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料
- ※身障者手帳等ご提示により本人と同伴者1名2割引
- 【主催】公益財団法人 大和文華館
- 【共催】読売新聞社 【助成】芸術文化振興基金

大和文華館

奈良
学園前

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL (0742) 45-0544

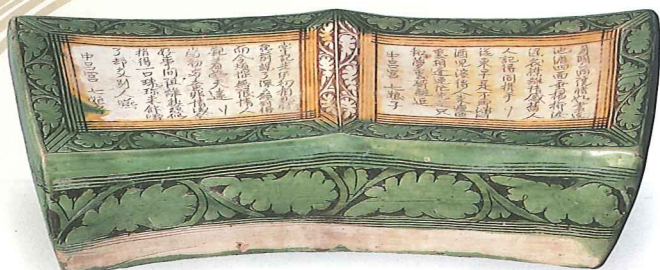


特別展

天^{てん}之美^の禄^{ろく} 酒^{さけ}の美術



重要美術品 青磁多嘴壺
中国北宋時代 大和文華館



三彩詩文枕
中国金時代 白鶴美術館



五彩金欄手婦女形水注
中国明時代 大阪市立東洋陶磁美術館



重要文化財 漆塗太鼓形酒樽
日本室町時代 堺市博物館



青花詩文取瓶
朝鮮朝鮮王朝時代 京都国立博物館

天からの素晴らしい授かりものとして「天之美禄(天之美禄)」と呼ばれる酒は、人の歴史とともに文化や信仰の重要な要素となってきました。酒は神と人を繋ぐものとされて神事や直会などの場に供えられ、様々な宴では酒を飲み交わすことで人々のつながりが深められました。花見や月見など季節に応じた宴会や家族や友と設ける宴席など、現在でも飲酒の風習は生活に深く根付いています。また、奈良は日本酒発祥の地とされ、京都の伏見や兵庫の灘五郷とともに、関西は酒造の地として知られています。本展覧会では、酒の場で用いられた趣向を凝らした酒器や宴を描く絵画など、酒にまつわる多様な美術作品によって、古代から近世の東アジアにおける酒の文化を紐解きます。

シンポジウム ●10月10日(日) 午後1時～午後4時半・講堂

「酒の美術 ー日本・中国から西洋までー」

【発表者】 福島県立美術館学芸員 坂本 篤史氏 当館学芸部課長 瀧 朝子
白鶴美術館学芸副主任 田林 啓氏 当館学芸部部員 仁方越 洪輝
兵庫県立美術館学芸員 安永 幸史氏

【共 催】 美術史学会

事前
申込制

講 演 会 ●10月24日(日) 午後2時・講堂 「天野酒と金剛寺」
天野山金剛寺座主 堀 智真氏

日曜美術講座 ●11月7日(日) 午後2時・講堂 「美術でたどる日本と中国の酒文化」
当館学芸部課長 瀧 朝子

列 品 解 説 ●毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、状況によってはシンポジウム、講演会、日曜美術講座、列品解説などは人数制限や変更になる場合があります。※各イベントに関して、詳細は順次、大和文華館ホームページに掲載いたします。

【広報協力】 奈良県酒造組合・奈良県みんなでのしむ大芸術祭

【広報連携】 奈良県立万葉文化館

奈良県立万葉文化館開館20周年記念特別展 うま酒の国 大和
10月9日(土)～11月23日(火・祝) TEL (0744) 54-1850

大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

<http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>

大和文華館

検索



@yamatobunkakan



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり

